

外国語科事例3 「書くこと」の実践事例 「思考・判断・表現」の評価

単元名 担任の先生にぴったりの相棒“GO-TO GUY”を紹介しよう

第1学年 SUNSHINE ENGLISH COURSE① PROGRAM6 由紀のイギリス旅行

- ポイント1** パフォーマンス課題を設定し、学習の見通しをもたせる
- ポイント2** 領域統合型の言語活動を通して、指導と評価を繰り返す
- ポイント3** 振り返りシート等を活用し、記録に残す評価を工夫する

1 「CAN-DO リスト形式」による学習到達目標 第1学年「書くこと」

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、話の構成に気を付けながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容で書くことができる。

2 単元の目標

担任の先生の力になる、ぴったりの相棒“GO-TO GUY”を紹介するために、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書き、おすすめすることができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形の肯定文や疑問文、否定文などの文構造を理解している。 ・身近な人について、三人称単数現在形の肯定文や疑問文、否定文などを用いて、まとまりのある文章を書く技能を身に付けている。 	相手のためになる“GO-TO GUY”(頼りになる相棒)を紹介するために、簡単な語句や文を用いて、その人物や物について、まとまりのある文章を書いている。	相手のためになる“GO-TO GUY”(頼りになる相棒)を紹介するために、簡単な語句や文を用いて、その人物や物について、まとまりのある文章を書こうとしている。

4 指導と評価の計画

時間	目標(◆) 主な言語活動(○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準<評価方法>
1	<ul style="list-style-type: none"> ◆単元の目標と評価を理解する。  ポイント1 ◆三人称単数現在形の肯定文の形・意味・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。 ○生徒と教師で、家族について簡単なやり取りをする。 ○自分の家族について、即興でペアに話して紹介し、その内容を書く。  ポイント2 				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆単元全体の内容を聞き、話の概要を捉えることができる。 ○帯活動: Small Talk① テーマ『家族』[発表] ※第1時とは別のペア ○ピクチャーカードを用いて、教師と生徒で簡単なやり取りをしながら、単元全体の概要を捉える。 				
3	<ul style="list-style-type: none"> ◆三人称単数現在形の疑問文・否定文の形・意味・用法を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。 ○登場人物について does と doesn't を用いてやり取りをする。 ○ワークシート“Who is he?”を用いて、生徒同士でやり取りする。答えには新たな1文を付け加える。 				

4	<p>◆教科書の内容を理解し音読する。自分の考えや気持ちを伝えたり、新たな情報などを付け加えたりすることができる。</p> <p>○帯活動: Small Talk② テーマ『学校の先生』[やり取り] ※第1・2時とは別のペア</p> <p>○ペアで話したことをもとに先生の紹介文を書く。  ポイント 2</p> <p>○Q and A を用いて内容を理解し、答えには新たな1文を付け加える。</p>				
5	<p>◆教科書の内容を理解し音読する。自分の考えや気持ちを伝えたり、新たな情報などを付け加えたりすることができる。</p> <p>◆教科書の本文をリテリングすることができる。</p> <p>○Q and A を用いて内容を理解し、答えには新たな1文を付け加える。</p> <p>○ピクチャーカードを用いて、教科書の本文内容をリテリングする。</p>				
6	<p>◆教科書で最も好きなキャラクターについての紹介文を正確に書くことができる。</p> <p>○最も好きなキャラクターについての紹介文を正確に書く。</p>	○			◎三人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文において、誤りが一部ある(1,2個)が、コミュニケーションに支障がない程度の英文を用いて書くことができる。〈行動観察・ワークシート記述分析〉
7	<p>◆前時にできあがった、キャラクター紹介文の誤りを直すことができる。</p> <p>○前時の紹介文で多かった誤りを含んだ英文を提示し、クラス全体で修正する。</p> <p>○自分の紹介文の誤りを修正する。  ポイント 3</p>	○			
8 本 時	<p>◆担任の先生力になる、ぴったりの“GO-TO GUY”（頼りになる相棒）を考え、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書き、その存在をお勧めすることができる。</p> <p>※改めてルーブリックの提示「書くこと」  ポイント 1</p> <p>○チャットタイム①: Who is Mr. Yamamoto?</p> <p>○質問タイム: 担任の山本先生について、より多くの必要な情報を得る。</p> <p>○チャットタイム②: Let's talk about Mr. Yamamoto's GO-TO GUY.</p> <p>○チャットで話したことを書く。  ポイント 2 (後日発表し、No.1 の GO-TO GUY を決定する。)</p>		○	 ポイント 3	◎担任の先生にとって理想である理由を加えながら、GO-TO GUY について書いているか。 ◎担任の先生にとって理想である理由を加えながら、GO-TO GUY について書こうとしているか。〈行動観察・ワークシート振り返りシート記述分析〉
後日	パフォーマンステスト(※)	○	○	○	

(※) パフォーマンステストについて  **ポイント 1**

◎パフォーマンステストの内容

This is our “GO-TO ROBOT” in my house.

あなたは AI ロボットの開発者になりました。あなたの家に住んでいて、あなたの家族のことを助けてくれる理想の“GO-TO ROBOT”について書きなさい。ただ、紹介するだけでなく、なぜあなたの家族にとって理想の“GO-TO ROBOT”なのかを明らかにして、書きなさい。

※25 語以上 40語以内の英語で書くこと。時間は 15 分です。

※なお、短縮形(I'm や isn't など)は1語と数え、記号(, や? など)は語数に含めない。

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック(評価基準)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	三人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文などにおいて、誤りのない正しい英文で書くことができる。	家族にとって理想である理由と自分の考えや気持ちを加えながら、GO-TO ROBOT について、詳しく書いている。	家族にとって理想である理由と自分の考えや気持ちを加えながら、GO-TO ROBOT について、詳しく書こうとしている。
b	三人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文などにおいて、誤りが一部ある(1, 2個)が、コミュニケーションに支障がない程度の英文を用いて書くことができる。	家族にとって理想である理由を加えながら、GO-TO ROBOT について書いている。	家族にとって理想である理由を加えながら、GO-TO ROBOT について、書こうとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール(bの姿)

This is my GO-TO ROBOT in my house.
 The name is “ Suke-chan”.
 My mother is busy. He cooks dinner for my family.
 My grandmother is tired. He does *katamomi* for my grandmother.
 I’m not good at studying. He does my homework.
 I like my robot Suke-chan. (34 語)

5 本時の学習

目標 担任の先生のかになる、ぴったりの“GO-TO GUY”(頼りになる相棒)を紹介するために、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書き、その存在をお勧めすることができる。

展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準<評価方法>
	○【Greeting】あいさつをする。	・あいさつをする。	
5分	○【Warm-up】※帯活動 ・My favorite character について、それぞれ 40 秒ずつ会話をします。聞いている側は相づちなどの反応をします。	○モデルの提示 My favorite character is Nyansuke. He likes onigiri and he dances well. He has a brother, Chibisuke. ・机間巡視をし、フィードバックする。(内容面・言語面)	
15分	Today's Goal: 山本先生のかになる“GO-TO GUY”を考え、英文で書いて、先生にお勧めしよう		
	○【Activity 1】 ・モデルを聞く。 ・チャット①: Who is Mr. Yamamoto? 担任の先生について英語で情報交換しメモをとる。 ・担任の先生からの手紙(英語訳)を聞いて、より多くの必要な情報を得る。メモをとる。	○モデルの提示 (別の教師に対する GO-TO GUY) ○机間指導 それぞれの言語活動において、中間指導を入れ、全体にフィードバックする。(内容面・言語面)	

27分	○【Activity 2】 ・チャット②:Let's talk about Mr. Yamamoto's GO-TO GUY. ・チャットで話したことに基づいて,担任の先生力になる『GO-TO GUY』をグループで話し合い,英文で書く。	○机間指導 ・中間指導を入れ,全体にフィードバックする。(内容面・言語面) ・相手意識をもって書くように指導する。	◎担任の先生にとって理想である理由を加えながらGO-TO GUYについて書いているか。 〈行動観察・ワークシート記述分析〉
3分	○【Reflection】 ・振り返りシートを記入する。	○机間指導 ・記述内容から,主体的に学習に取り組んだかを見取る。	◎担任の先生にとって理想である理由を加えながらGO-TO GUYについて書こうとしたか。 〈行動観察・振り返りシート記述分析〉
	○【Greeting】あいさつをする	・あいさつをする	

※「領域統合型の言語活動を通して生徒のパフォーマンスの変容を評価する」

書くこと「思考・判断・表現」/（「主体的に学習に取り組む態度」）の実践事例のポイント
 授業者のコメント

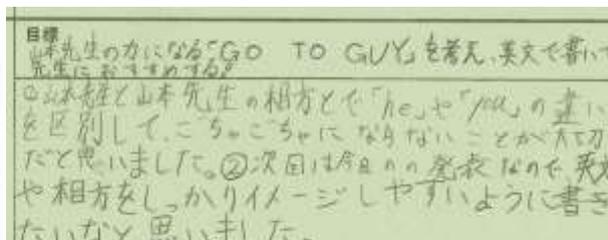
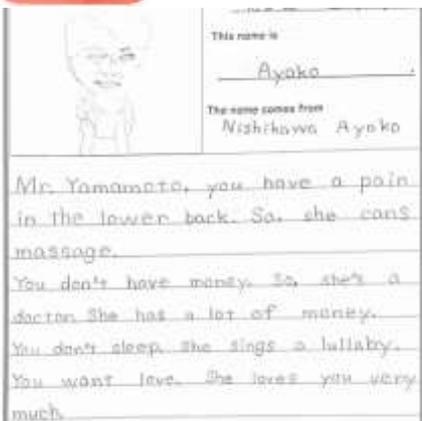
ポイント 1 パフォーマンス課題を設定し,学習の見通しをもたせる

単元終末の言語活動として「担任の先生にぴったりの相棒を紹介しよう」という課題を設定した。事前に担任の先生の情報を入れたり,先生についての質問を考えたりする宿題を出した上で,本時を迎えたが,どの生徒も主体的に取り組んでいた。本時では「先生のために」という気持ちで課題に取り組む姿が見え,改めて目的・場面・状況のある課題設定が必須であると感じた。担任の先生が相棒 No.1 を決めるという工夫も行った。後日のパフォーマンステストでは,この課題に類似したものに時間や文字数の制限を加え,個人で取り組ませ「記録に残す評価」としたいと考えている。

ポイント 2 領域統合型の言語活動を通して,指導と評価を繰り返す

三人称単数現在形の s は,理解できても定着するまでに非常に時間がかかるため,「聞くこと」や「話すこと」といった他の領域と統合させながら繰り返し指導してきた。聞いたり話したりしたことを最終的に書くことで,「正確さ」を高めた。また,「担任の先生にぴったりの相棒」を英語で紹介するため,一人称(自分)・二人称(担任)・三人称(相棒)について書くという必然性が生まれ,一般動詞に s をつけるのかどうか判断させることもできた。

ポイント 3 振り返りシート等を活用し,記録に残す評価を工夫する



生徒の紹介文
振り返りシート
の一例 (A 評価)

紹介文には,なぜこの相棒を担任の先生に紹介するのか,理由が書かれている。文章の構成などが今後の課題となる。

振り返りシートの記述からは,相手意識があり,思考している様子が見取れる。また,次時に向けて自己調整しているとも考えられる。